

令和8年度 若者未来デザイン会議 結果報告会

“競争”から“共創”へ
～地産地消で地域経済循環を実現～



from 岐阜県創生研鑽会

テーマ：「“競争”から“共創”へ 地産地消で地域経済循環を実現！」

※ 岐阜県が掲げる「10の目指すべき目標」のうち「⑧社会課題を解決し未来を拓く新たなビジネスや産業を生み出す」に資する提案

➤ 県内企業が地域内でつながり、協働する機会を提供し、ビジネス・イノベーションの出発点となる「地域経済循環プラットフォーム」をつくる

Phase1：企業版マッチングアプリ

- ・マッチングアプリの要領で企業間がつながるプラットフォームづくり
- ・マッチングした企業間でチャット等で気軽にやり取り、オープンチャットやオフラインの交流イベントも

Phase2：ノウハウシェアリング

- ・自社のノウハウ＝「情報」を他社に有償提供できるプラットフォームづくり
- ・ノウハウの共有を促進し、生産性を高め合う、「AI」によるおすすめノウハウのレコメンド機能も搭載

Phase3：課題起点型マッチング

- ・Phase1、2でつながった企業及び大学の学生等が一体となって地域課題解決策を提案
- ・地域課題の共同解決を通じて、新製品・新事業の創造や人材育成・人材確保を図る

提案に対する県の考え方

- 新たなビジネスの創出や地域の課題解決には、県内企業同士に加えて、スタートアップや自治体など、**様々な関係者が連携して取り組むことが、スピーディーかつ効果的**
- 企業同士が連携し、新たなビジネスを創出するには、**企業間でWin-Winの関係を構築する必要があり、仲人的な役割を果たす存在が不可欠**
- 企業・企業グループの技術やアイデアを地域の課題解決に結びつけるには、**官民連携の取組も必要**
- 共創・連携を促進するためには、**企業や行政のマインド変容が必要**

【参考】提案内容に関し検討が必要と感じたこと

・ マatchingプラットフォームに登録する情報の取扱い（ノウハウの流出、無断利用リスクなどへの対策・・・等）

・ メリットのある協業とするための運営方法

（登録情報の粒度・バランス、ターゲット・目標の具体化、企業間の関係づくり、各企業の推進体制づくり・・・等）

ご提案の趣旨は、以下のプロジェクトに活かします！

スタートアップとの共創・連携によるイノベーション創出

- ◆ 革新的なアイデアや製品・サービスを強みとし、社会課題の解決を成長のエンジンとする「スタートアップ」との協業にフォーカス
- ◆ 県がプラットフォームの役割を果たし、意欲ある県内企業・企業グループや県・市町村とスタートアップをマッチングして、新たなビジネスの創出や地域の課題解決を促進
- ◆ 課題の明確化、マッチング要件の整理、共創・連携体制の構築、実証事業・新規事業開発などを伴走支援
- ◆ 共創・連携モデルを創出しノウハウを共有

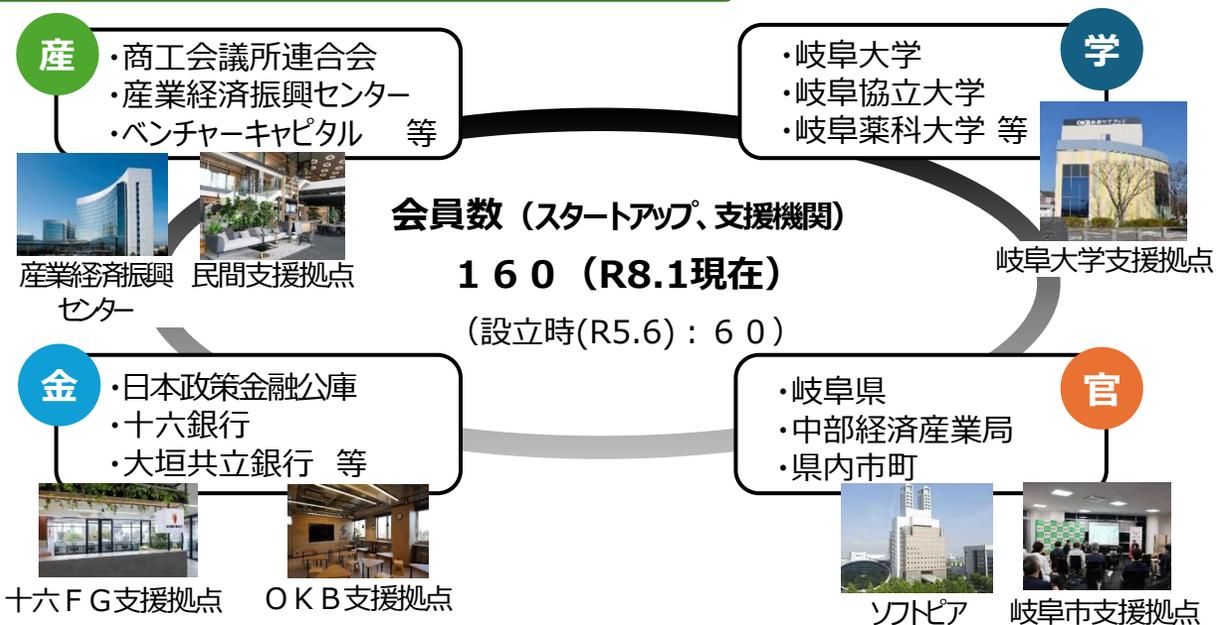


スタートアップとの共創・連携によるイノベーション創出

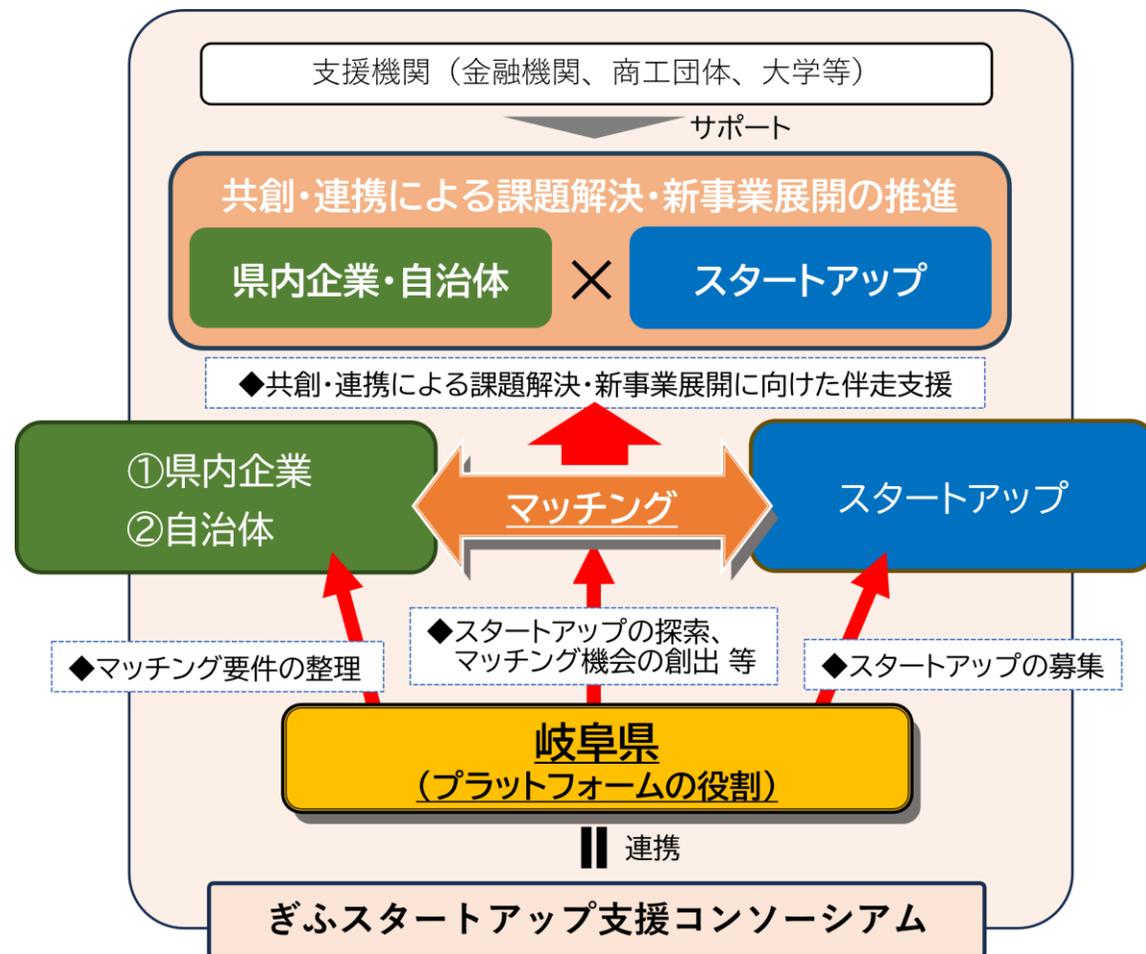
スタートアップ・イノベーションの推進

- 「ぎふスタートアップ支援コンソーシアム」などにより、産学金官が一体となってスタートアップの創出・成長を促進
- 県内企業・県内自治体とスタートアップとのマッチング、共創による課題解決や新事業展開を伴走支援

ぎふスタートアップ支援コンソーシアム



【実施イメージ】



スタートアップとの共創・連携モデルの創出

①県内企業のオープンイノベーションの促進【R8拡充】

- ・自社の課題解決や新事業展開に意欲のある県内企業を対象に、スタートアップとの共創に向けた要件整理、スタートアップとのマッチングなどを伴走支援

②官民連携による地域課題解決の促進【R8新規】

- ・スタートアップの新しい技術やビジネスモデルを地域課題解決に活用
- ・県や市町村が抱える課題を明確化し、ソリューションを有するスタートアップとの連携体制の構築、実証事業の実施などを伴走支援

※共創・連携モデルの横展開 (ノウハウの共有) を図るとともに、新たな企業間連携のきっかけとする